

「令和6年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.4)」

■ 研修時期・研修先

時期：令和6年7月9日・10日（2日間）

研修先：農事組合法人となん（盛岡市）

■ 研修生について

東京都在住のDさん。将来、岩手に戻り「岩手の魅力を伝えたい」という気持ちの中で、「自分が興味を持ち、挑戦してみたいことが農業だった」とのことからお申込みいただきました。

■ 研修先の概要

経営面積は、水稻(主食用 731ha、加工用 53ha、米粉用 18ha、飼料用 41ha)、小麦 90ha、大豆 4ha、加工用トマト 1ha を作付し、生産・販売しています。

地域農業が抱える諸問題の解決を図り、地域農業を次世代にうまくバトンを渡す役割を果たしたいとの趣意から、平成25年3月に設立されました。

また、営農や行事を協力し合いながら行う「ぐるみ型」の集落営農を展開し、組合員が管理できない農地は、同組合職員が「直営」で耕作しています。

【HP】 <https://tonan-agricoop.jp/>

■ 研修の内容

座学（組合の概要・組織経営外）、きゅうり収穫、管内案内、ブルーベリー収穫、かぼちゃ定植、商品販売と様々な研修を行いました。

盛岡農業改良普及センターの農業普及員の方にも出席いただき、ご助言をいただきました。



■ 研修の感想

- ・ 雨続きで、限られた農作業での研修となり、もう少し本来の体力を必要とする作業もしてみたかった。
- ・ 農作業は初めての体験でしたが、自分自身が土を触ることが好きなことがわかって良かった。
- ・ また、グリーンツーリズムに興味を持っていたので、農家民泊に関する情報を得られたのはとても良かった。



■ 今後の予定

今回の研修で、就農にあたり自分のやりたい農業へのきっかけがつかめ、一歩前に踏み出せました。

秋頃になると思いますが、農家民泊を体験してみたいと思います。